

# ゆきの灯り

第3号

平成29(2017)年  
3月発行  
油木協働支援センター  
0847-82-2228

## 長期事業計画案(案)決定

2016年、協働支援センターが立ち上がったから、皆様にご協力いただき、1年をかけてたくさんの方をいただきました。計画案が出来上がりました。(※詳細は裏面へ)

それぞれの自治振興会によって周知されている計画案かと思いますが、3月中旬頃の臨時総会にて確定し、4月から実際にテーマ別の運営組織が立ち上がり、実現させるためにスタートします。

## 計画策定円卓会議の流れ

第1回計画策定円卓会議は2016年7月8日(金)に開催され38人のみなさんで意見交換をすることができました。テーマに応じてグループ分けをしました。テーマ別の意見交換はとても前向きで活発な話し合いが行われ、幅広い視野から問題点・課題が出されました。発表者により話し合いの結果の発表をしていただきました。

第2回は同年9月8日(木)に行われました。前回に引き続いて、住民・自治振興会による取組と行政の取り組みを話し合うことにグループ化しました。ゆきの灯り。油木地区の将来像についての話し合いを行

いました。各グループの発表者により話し合いの結果を発表し意見交換をしました。

第3回は、1月25日に開催し、これまでの計画案全体の説明をしました。

みなさんとても前向きで内容の深い話し合いができました。

## 季節を感じる

“春の妖精・ユキワリイチゲ(雪割一華)、花言葉「幸せになる」”



協働支援センター発足以来、皆様にはアンケート調査を始め、各委員会で大変お世話になりました。29年度からの計画推進では、住民皆様のお力を結集しながら、少しずつ事業展開を進めようと思えます。よろしくお願ひします。

センター長 赤木 健二

## センター発足からのながれ

- 5月 設立総会  
幹事会①
- 4月 センター連絡会議
- 6月 幹事会②  
審査会①  
意識調査アンケート配布
- 7月 長期事業計画策定委員会①  
4センター連絡会議  
計画策定円卓会議①  
4センター連絡会議  
幹事会③  
審査会②
- 8月 長期事業計画策定委員会②  
9月 幹事会④  
計画策定円卓会議②  
4センター連絡会議  
長期事業計画策定委員会③  
幹事会⑤
- 10月 4センター連絡会議
- 11月 4センター連絡会議  
長期事業計画策定委員会④  
12月 幹事会⑥  
4センター連絡会議
- 1月 長期事業計画策定委員会⑤  
計画策定円卓会議③  
幹事会⑦
- 2月 長期事業計画策定委員会⑥  
幹事会⑧



## 油木公民館より

新年度より油木協働支援センターと油木公民館は一緒になります。公民館という名前はなくなりませんが、活動は今まで通り行います。

新年度より、油木協働支援センターの組織の一員として、公民館業務に取り組みます。皆様の要望を取り入れた活動が出来れば良いと思っていますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

油木公民館長 川上 馨

4月から油木協働支援センターで今までどおりの油木キッズクラブや大人の教室で頑張ります。よろしくお願いいたします。

奥津 照美

## 事務局長後任決定

現在の事務局長(三枝)は、2017年3月をもちまして協働支援センターから退くことになりました。協働支援センターを志半ばで退くことは後ろ髪を引かれる思いがあります。今後は私ができる範囲の違う形で関わることができたらと思います。

ターソンで神石高原町にやってきて、こんなにもみなさんに助けていただきとても感謝しております。特に赤木センター長には大変お世話になりました。事務局長の後任も決まりました。協働支援センターは、役場と住民の架け橋的存在です。新事務局長と共に今後も協働支援センターにお力添えをいただけますようお願いいたします。

## 編集後記

春の訪れを感じます。今冬は雪が期待できると言われていましたが、少ないですね。ホッと胸をなでおろす人もいれば、残念に思う人もいたことでしょう。雪が積もれば、生活に支障が出る人もいます。雪がなければ仕事にならない職業の人もあるでしょう。全てにおいて何が正解なのかそうじゃないのかを考えさせられますね。



三枝



# 油木地区長期事業計画の概要

平成 28(2016)年度 ▶ 平成 32(2020)年度

平成29年3月 油木協働支援センター

## 【計画の趣旨】

- 長期事業計画は、油木地区の住民が、自然、文化、歴史等の地域資源を活用しつつ、自らが取り組むべき活動の方針、内容等を定めた計画です。
- 協働支援センターを核としてまちづくりに取り組むための指針として定めるものです。

## 【協働支援センターの役割】

- 一地域の総力を結集するための活動母体
- 地区のまちづくりに係る情報の共有と共通認識の形成を図ります。
- 長期事業計画の策定などを通じて、計画的、効果的なまちづくりを進めます。
- 自治振興会などの団体と連携して、多様な地域ニーズに対応したまちづくりを進めます。

## 【将来ビジョン】

- まちづくりの基本理念
  - 基本理念1 誰もが安心して、安全に暮らせるまちづくり
  - 基本理念2 地域資源を活かした豊かなまちづくり
  - 基本理念3 自分達で創る持続可能なまちづくり
- 将来像
  - 『誰もが安心して誇りを持って暮らせるまち ゆき』
- 計画のテーマ
  - 『共に生き、共に暮らせるまちづくり』
- まちづくりの目標
  - ① 誰もが安心して豊かに暮らせるまち
    - ・高齢者等の在宅生活の支援、子育ての支援、伝統文化の継承などを通じて、誰もが安心して、地域に誇りを持ち、豊かに楽しく暮らせるまちの実現を目指します。
  - ② 若者が集い、定住するまち
    - ・空家、空店舗等の活用による起業の促進、営農や田舎暮らしを志向する若者のUターン者の受け入れと支援などを通じて、若者が集い、定住するまちの実現を目指します。
  - ③ 便利で住みよく、活気あふれるまち
    - ・農林業の振興、体験・交流の推進、いちばにおける商業・サービス機能の充実、美しい集落環境の維持等を通じて、便利で住みよく、活気あふれるまちの実現を目指します。

## 【部門別計画】

- 1 誰もが安心して元気に暮らせるまちづくり
  - ・健康づくり
  - ・高齢者等の在宅生活の支援 など
- 2 子育てしやすく、誇りを持って暮らせるまちづくり
  - ・子育て支援
  - ・学習活動、伝統文化の継承
- 3 みんなで支えあう地域コミュニティづくり
  - ・地域イベント等の活性化
  - ・地域内交流の場と機会の確保 など
- 4 農林業を活かした産業振興と活力あるまちづくり
  - ・農林業の振興、特産品の開発
  - ・商工業の振興
- 5 観光・交流の盛んな賑わいのあるまちづくり
  - ・観光客のおもてなし
  - ・体験・交流 など
- 6 空家の活用等による移住しやすいまちづくり
  - ・空家情報の収集・管理、活用
  - ・移住者の受入とコミュニティづくり
- 7 便利で暮らしやすい生活圏づくり
  - ・商業サービスの充実
  - ・いちばの再生
- 8 暮らしを支える基盤づくり
  - ・防災体制の充実
  - ・集落環境の維持・向上 など

## 【重点事業の計画】

- |   |  |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 高齢者等在宅生活支援事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業企画</li> <li>・ニーズの把握</li> <li>・事業体制の整備</li> <li>・事業実施</li> </ul> </li> <li>2 地域子育て世帯支援事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業企画</li> <li>・ニーズの把握</li> <li>・事業体制の整備</li> <li>・事業実施</li> </ul> </li> <li>3 伝統文化等継承事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化等の調査</li> <li>・情報発信</li> <li>・学習・継承</li> <li>・伝統行事の支援</li> <li>・イベントの開催</li> </ul> </li> <li>4 農業振興・特産品開発事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな農産物の生産・加工</li> <li>・一地域一品以上運動</li> <li>・営農の共同化</li> <li>・情報発信・販売強化</li> <li>・特産品イベントの開催</li> </ul> </li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>5 体験・交流推進事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業企画</li> <li>・運営体制づくり</li> <li>・体験・交流の場の確保</li> <li>・体験・交流の実施</li> </ul> </li> <li>6 田舎暮らし体験・移住促進事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業企画</li> <li>・運営体制づくり</li> <li>・田舎暮らし体験住宅等の確保</li> <li>・空家情報収集・利活用の促進</li> </ul> </li> <li>7 いちば再生事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業企画</li> <li>・推進体制づくり</li> <li>・資源体験コースづくり</li> <li>・定期イベントの開催</li> <li>・若者等交流拠点の運営 など</li> </ul> </li> <li>8 農村環境維持・向上事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業企画</li> <li>・出身者等との連携</li> <li>・有害鳥獣対策</li> <li>・美しい景観づくり</li> <li>・遊休農地等放牧・飼育</li> </ul> </li> </ol> |
|---|--|

## 【計画の推進方策】

- ① 地区住民の合意形成と参加の促進
- ② 協働支援センターにおける取組体制の充実
- ③ 重点事業の推進体制の構築
- ④ 油木地区における一体的な取組体制の構築
- ⑤ 4地区の連携による効果的な取組の推進
- ⑥ 神石高原町及び関係機関・団体等との連携
- ⑦ 計画の進行管理